



幸手市議会議員  
**本田ようこ**

〒340-0164

幸手市香日向3-10-16

TEL: 080-5137-4539

<https://twitter.com/yokogaugoku>

<http://honda-yoko.com/>

— 緊急臨時号 —

幸せの手

本田ようこ後援会

## 新聞記事になった 幸手市議会の事実検証！

令和5年6月22日、市議会議員改選直後の議会最終日に、それは起こりました。

同日朝、突然、「枝久保喜八郎議員の議長不信任決議（案）」が提出者・小河原浩和議員、賛成者・青木章議員、松田雅代議員、高野優一議員、宮澤大地議員より提出されました。

### ■市議会議長を不信任

幸手市議会は22日、枝久保喜八郎議長に対する不信任決議案を賛成多数で可決した。採決に先駆け、議員1人を市の監査委員に選任する市長提出議案が否決されており、枝久保氏が役割を果たさなかったとする議員らが「指導力不足。不適格」とする決議案を出した。決議に法的な効力はない。

(朝日新聞6月23日朝刊より)

### 決議案第2号

#### 枝久保喜八郎議員の議長不信任決議（案）

枝久保喜八郎議長は、議会選出による監査委員の人事案について、令和5年第1回幸手市議会臨時会に続き、第2回幸手市議会定例会においても、市長に対し積極的に提案を促すことをせず、会期中を通じて人事案提出に前向きに関与しなかった。

この間、3会派の代表者から、議長が調整を図るべきで、今議会中に必ず監査委員を選任するよう申し入れを行ったにも関わらず、議会が混乱しただけで、結果的に会期中の選任には至らなかった。

これにより、今後予定されている令和4年度決算審査は、代表監査委員1名で対応しなければならず、適正な監査業務に重大な支障をきたす危険性が高まった。

このように、議会の中心となって議員を取りまとめるべき立場であるにも関わらず、監査委員が選出されなかったことは指導力不足であり、前代未聞の事態となった。

また、会派代表者からの申し入れにも耳を傾けない姿勢は、議長として、まったく不適格であり、今後の議会運営を委ねることはできない。

よって、枝久保喜八郎議長に対し、不信任を決議するものである。

以上、決議する。

令和5年6月22日

幸手市議会

\*監査委員とは、自治体の主として財務に関する事務について、法令に違反していないか、効率的に行われているかを監査し、その結果を住民に広く知らせています。

\*監査委員の選任は、首長(市長)が行います。議員から1名、議会の同意を得て行います。

## 議会最終日の流れ

- 9:00 市から追加議案の説明（枝久保議長・本田副議長・小河原議会運営委員長・四本議会運営副委員長）  
議案第38号 監査委員の選任について
- 9:30 議会運営委員会 追加議案・議案第38号の説明と次回本議会の日程等について
- 10:08 本議会開会
- ~~~~~
- 11:12 休憩 その間に小河原議員より「枝久保喜八郎議員の議長不信任決議（案）」が提出される。
- 11:23 議長案件のため、本田副議長が議長代行となり再開→直ちにこの案件を議会運営委員会ではかるため、  
暫時休憩
- 11:37 再開 追加日程第1、決議案第2号 枝久保喜八郎議員の議長不信任案の提案説明（小河原議員）
- 11:41 質問（大平議員）→答弁（小河原議員）答弁の前に休憩動議が出され暫時休憩となる
- 11:51 答弁（小河原議員）→答弁漏れ指摘（大平議員）→答弁（小河原議員）→再質問（大平議員）→答弁（小河原議員）
- 11:57 昼食のため休憩
- 13:01 再開→意見調整のため暫時休憩→再開
- 13:03 反対討論（坂本議員） \*賛成討論なし  
投票は「無記名投票」との声が複数あり、無記名投票となる
- 13:11 **投票 投票者数13名（当事者の議長、議長代理の副議長の2名を除く）**  
**結果 賛成9名、反対4名 →「可決」となる**
- 13:19 暫時休憩（司会を副議長から議長へ戻すため）  
\*しかし、その間に9名は議場を退場した。その後、議長自ら2回「議会を再開したいので議場に戻ってください」と声をかけ、3回目には「2時から再開しますので宜しくお願いします」と言ったが、本議会が終わるまで、誰ひとり議場へは戻りませんでした。
- 14:00 再開 この41分間議場で待機していたのは、市長他執行部の皆さんと関係職員、そして枝久保議長、本田副議長、大平議員、小林議員、坂本議員、小泉議員でした
- 14:01 日程第5→日程第6
- 14:03 市長挨拶
- 14:04 散会

議会の採決はおもに「起立による表決」ですが、今回、「無記名投票」となりました。

議長選挙：有効投票数14票  
枝久保議員9票で当選。  
今回の議長不信任案：投票数13票、賛成9票で可決。

13時19分から散会まで、何の主張もせず議場から退場。議員としての仕事を放棄したことと同じではないでしょうか。

## 幸手市民の皆様へ

今回の新聞記事により、私のところにも近隣の議員仲間からたくさんの声が集まりました。

まず、市長選任の監査委員が決まらないからと、議長の不信任案が出されるのはおかしい。何を考えているのか。枝久保議長が誕生して1か月も満たない時期に不信任案は更に信じられないと。

また、議長不信任案の賛成討論もなく、誰が賛成かわからない無記名投票。議員はひとつひとつの表決に責任があります。私は、このまとまっていない議会では、どなたが議長をやっても監査委員は議会から選出できなかったと思います。私たち議員にも15分の1の責任があります。議長をみんなで支えるのが私たち幸手市議会の議員の役目ではないでしょうか。日常の本会議でも、注意されても居眠りしている議員、裸足になり胡坐をかく議員、スマホをいじっている議員、議案書も持ってこない議員などどうんざりです。その方々は、市民の皆様が1票入れて当選した方々です。投票して議員にさせた皆様、しっかりとその議員が皆様のために働いているか、責任をもって見てください。残念ながらID化や議会改革を前進させようとしても足を引っ張るのはそんな議員さんたちです。だから、このまちは遅れるのです。自分本位でなく、市民本位に、真にこの幸手のために働いてほしいと願います。